

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect

帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信



令和7年7月14日
NO.6 文責 菊谷

キャリア

地域の大人とともに考える①～認知症サポーター講座～



自己理解・自己管理能力（主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、今後の成長のために進んで学ぼうとする力）の育成を目指します。



6月12日（木）「地域包括支援センター帯広けいせい苑」より3名の講師の方が来校され、5年生を対象にした、「認知症サポーター小学生養成講座」（おびひろ市民学）が行われました。けいせい苑は、豊成校区内にある施設ということで、4年生の「豊成のステキ発見」での見学場所としてお世話になったこともあります。

この講座では、認知症という病気のこと。認知症の人との接し方。まわりの人を大切にする。という3つの内容で進められました。介助支援専門員の方から、認知症は85歳以上の4人に1人がかかる脳の病気であることを聞く

認知症予防の「後だしじゃんけん」

と身近な家族のことを思い浮かべた子が多かったようです。認知症の人を応援できるサポーターとして私たちにできることは目線を合わせてゆっくりと話すこと。一緒に手伝ってあげることだと教わりました。みんなが安心して生活するために、認知症の人に限らず、困っている人に言葉を掛けたり、自分には何ができるかを考えたりすることは、素敵なことですね。



児童の感想・ふりかえり

- 優しい笑顔で接することが大切だと知りました。認知症の方は、毎日不安なので、少しでも安心してもらえるように話しかけたいと思った。
- 3つの「ない」急がせない。おどろかせない。こわがらせない。とお年寄りを尊敬する気持ちを忘れないでこれから生活していきたい。
- 将来の夢が変わりました。認知症の方やお年寄りの方を支える仕事がしたいと思いました。
- 認知症という言葉は聞いたことがあったけれど、こんなに身近なことだとは思わなかった。自分にできることがあるかもしれないと思った。